

# 進路のてびき 1 学年

---

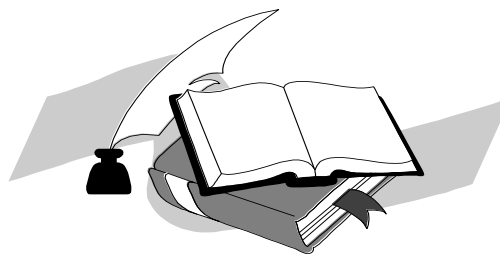
## も く じ

### 第 1 部 大学受験の基礎知識

- Q 1 大学受験のしくみはどうなっていますか？…………… 2
- Q 2 大学入試センター試験とは何ですか？…………… 4
- Q 3 国公立大学の二次試験はどのように行われますか？…………… 6
- Q 4 私立大学の一般入試はどのように行われますか？…………… 7
- Q 5 推薦入試はどのように行われますか？…………… 9
- Q 6 A O 入試とは何ですか？…………… 11
- Q 7 国公立大学と私立大学ではどこが違いますか？…………… 11

### 第 2 部 進路を考えよう

- Q 8 本校の卒業生は、どのようなところに進んでいますか？… 13
- Q 9 進路に関して今やるべきことは何ですか？…………… 16
- Q 10 進路の情報をどのように得ればよいですか？…………… 20
- Q 11 1 年生では、どのような学習をすればよいのですか？…………… 22
- 受験体験記…………… 23



# 第1部 大学受験の基礎知識

## 1 大学受験のしくみ

### (1) 進路のてびきの利用にあたって

今までの皆さんは、保護者や学校の敷いたレールの上を走っていればよかったかもしれません。しかし、これからは自分の人生を自分で開拓していくことが求められます。皆さんは、高校3年間のうちに人生にかかわる大きな決断を迫られる事になるでしょう。自分の進路をよく考え、大きな夢や目標を持って高校生活を送ってほしいものです。在学中の進路に関する大きな流れは、図1のようになっています。本校では、大学進学希望者がほとんどなので、この「てびき」は、全体として大学進学を前提に書かれています。専門学校や就職を希望する生徒は進路指導部や担任の先生に個別に相談して下さい。

### (2) 高校受験と大学受験の違い

公立高校の入試問題の特色は、基本的な出題が多いことです。この結果、中学校できちんと勉強をしていると合格することができます。しかし、大学受験は、全国区です。おっとり構えていたのでは、間に合いません。大学受験の厳しさを早めに認識することが大切です。そこで、この1年生版の「てびき」は、まず、大学受験の基礎知識を皆さんに知ってもらった上で、自分の将来を考えてもらおうという構成になっています。

### (3) 大学受験の概要（変わるセンター試験制度に注意！！）

大学進学の方法には、一般入試と推薦入試とAO入試があります。一般入試では、国公立大学の場合、今までは1月中旬に行われる大学入試センター試験を受け、その後、二次試験を受けることで合否が決定していました。しかしみなさんの学年からその制度が廃止を含め大きく変わることが決定されています。随時情報は伝えますので、混乱しないようにしてください。

一般入試では、調査書の内容が点数化されることはあまり無く、試験一発勝負の感が強くなっています。大学の入試問題は、高校受験と違って難しい内容が多く、高校での学習内容をきちんと身につけた上で、さらに、できるだけ早めに受験用の学習が必要になります。

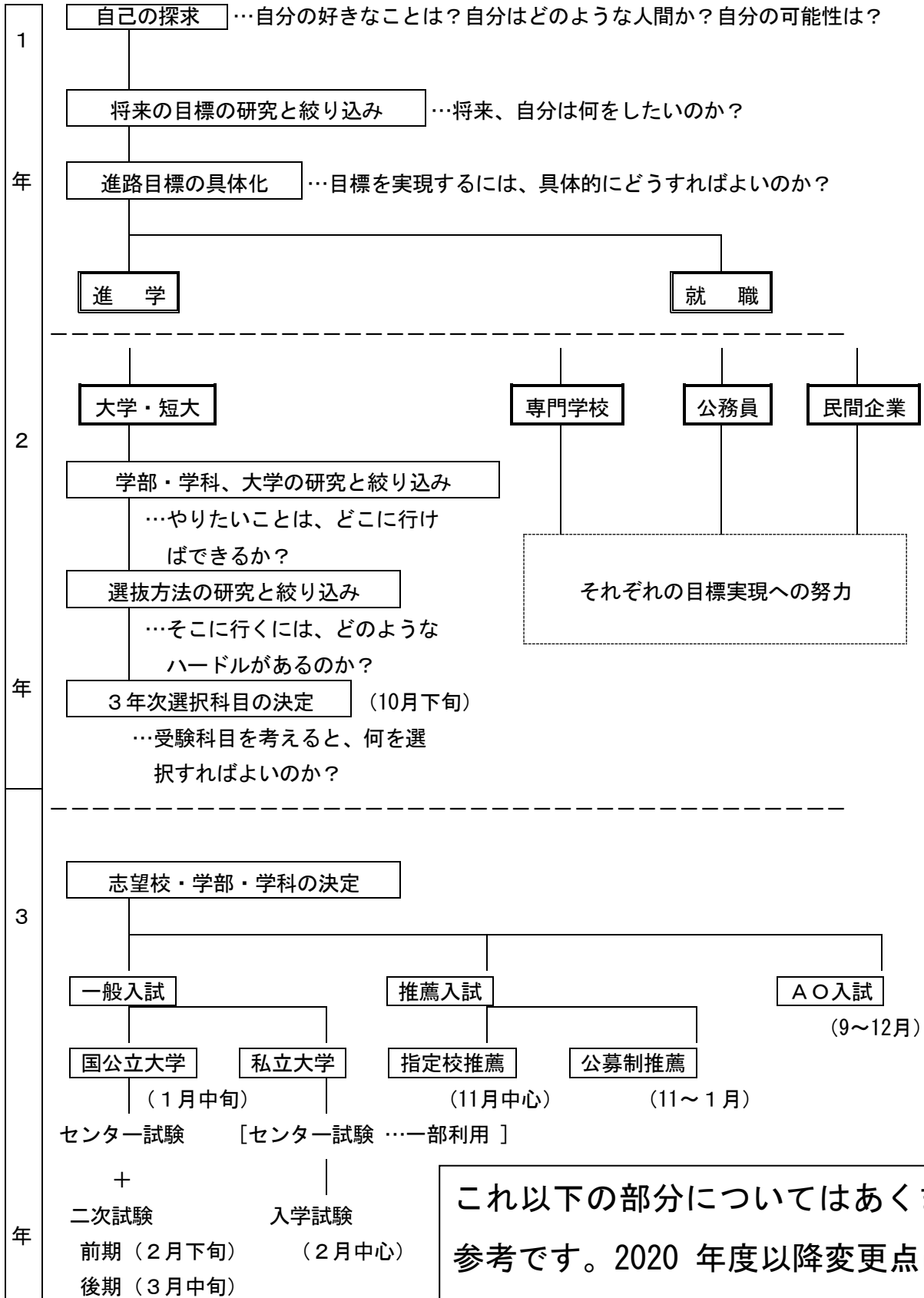
推薦入試には、大学側が高校を決めて推薦数を指定してくる指定校推薦と、大学が一般に公募する公募制推薦（一般推薦）があります。3年生の秋に出願するものがほとんどで、期間が重なるためチャンスは基本的に1回です。特に指定校推薦で希望者の集中する大学では、校内の選抜が厳しくなります。大学側の要求を一言でいうと、「充実した高校生活を送った生徒」ということになり、本校では、学習成績を主とし、出欠状況、諸活動なども含めて総合的に評価して推薦者が決められています。しかし本校では大学が求める成績を持っている生徒は、一般受験で合格する可能性が高く、ほとんど希望者が出ないのが現状です。まずは一般受験と考えましょう。

AO入試は、ここ数年で急速に広がりを見せている入試制度です。大学により選考方法や出願時期が異なり、高校生にはわかりにくい面もありますが、今後も増加していくことが予想されます。AO入試は私立大学が主に実施していたものですが、国公立も2021年までにAO推薦を入学定員の30%を目標にするとしており、しっかりとした対策が必要になっています。

AO入試の問題点として、準備に時間がかかりすぎ、特に受験勉強で伸びる時期とされている夏休みが確実にそれでつぶされます。めでたく合格すればよいのですが、不合格の場合、その後への影響は計り知れないものがあります。リスクが大きくお勧めはしない制度ですが、特に秀でた能力や、目的に叶った継続的な活動（たとえば芸術活動など）があればチャレンジしてもよいでしょう。

# 進路の設計… 3年間の流れ

1年

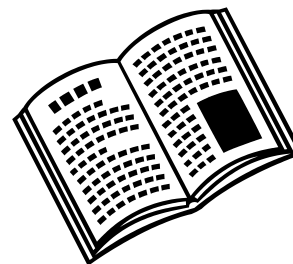


これ以下の部分についてはあくまでも参考です。2020年度以降変更点について分かり次第変更していきます。

## 2 大学入試センター試験

### (1) 大学入試センター試験の概要

国公立大学で 1979 年度から開始された共通一次試験は、1990 年度から私立大学の一部も参加して、名称も「大学入試センター試験」と改められました。国公立大学を受験するためには、このセンター試験を受験しなければならず、また私立大学でも、センター試験を利用する大学が 7 割を超えました。出願は 3 年生の 10 月に行われ、本校では例年約 9 割以上の生徒が出願しています。試験は、1 月中下旬の土曜・日曜に実施され、解答は全てマークシート方式で行います。問題自体は基本的には基礎的な学力を問うもので、日頃しっかり高校の授業を聞いていれば、それほど戸惑うことはありません。ただ問題数が多いため、解答スピードが求められます。また 2006 年度入試からリスニングテストが導入され、その準備も重要になります。センター試験の受験後、新聞や受験産業の模範解答で自己採点をし、その結果を見て、出願する国公立大学を決め、二次試験に挑みます。また、センター利用の私立大学では、センター試験前に出願を済ませておく場合が多いですが、一部ではセンター受験後でも出願が間に合う大学もあります。



### (2) センター試験（大学入学居間テスト）について

☆国立大学志望者は 5 (6) 教科 7 科目の受験が基本となる。

センター試験で必要となる教科・科目は、大学により異なるが、国公立大学の多くは 5 教科以上を課しています。

「5 (6) 教科 7 科目」の構成は、大別すると次の 4 つのパターンに分けられます。

文系型…外・国・地・公必須、数・理から 3 (数 2 必須のパターンを含む)

理系型…外・数 2・国・理 2・地 or 公

選択型…外・国必須、数・理・地・公から 5 (数 2 必須のパターンを含む)

総合型…外・数・国・理 2・地・公

※2006 年度入試では理科で 3 科目受験しなければならない国公立医学部が京都大・大阪大・佐賀大・京都府立医科大の 4 つあった。北海道大では変則的に 3 科目を必要としており、今後受験科目の情報については注意が必要です。

☆系統ごとの受験型の占める割合

○文・人文・社会・国際・法・政治・経済・経営・商などの系統は「文系型」が半数以上を占めています。

○理・工・農・医・歯・薬・保健などの系統は「理系型」が 8 割以上を占めています。

○教員養成・教育・家政・生活科学・環境・人間・情報などの系統は「理系型」「文系型」「選択型」の 3 つに分かれています。

### 3 国公立大学の二次試験

#### (1) 「分離・分割方式」とは

国公立大学（短期大学を除く）の一般入試では、センター試験（1月中旬の土・日曜の二日間で実施）受験後に二次試験を受けることになります。国立大学とほとんどの公立大学では、「分離・分割方式」という選抜方式がとられています。この方式は、各大学の定員を前期・後期に振り分け、2回試験を行うものです。同じ大学・学部を2回受験することもできますし、別々の大学・学部を受験することもできます。出願は、センター試験の自己採点を参考に、前期後期、同時期に行います。

#### (2) 「分離・分割方式」の問題点

「分離・分割方式」では受験のチャンスは2回（中期も入れると3回）ありますが、次のような問題点もあります。前期日程で合格した大学に入学手続きを行うと、中期・後期日程に出願した大学は合格対象から外されてしまうというルールです。このため、第1志望校は前期日程で受験するのが一般的です。また、定員配分も前期 73.9%、後期 24.1%、中期 2.0%と圧倒的に前期日程が多くなっています。後期は狭き門というイメージがあり、敬遠される傾向にありますが、実際には、前期合格者が抜けるので、実質競争率は名目ほど高くはありません。また、同じ大学の同じ学科でも、前期日程と後期日程では、受験科目が異なることが普通で、同じ大学を続けて受けるためには、より幅の広い受験準備が必要になります。特に後期日程では、小論文や総合問題・面接などを実施する大学が多く、学科試験とは異なる準備が必要になります。

「分離・分割方式」は複数受験できるとはいえ、実質的には前期日程を中心とした仕組みとなっており、後期日程は二期募集の意味合いが強くなっています。また、国立大学協会は2006年度入試から後期日程の募集枠をAO入試に・推薦入試の募集人員に含めることを条件に、一般入試の募集を前期に一本化することを認めました。これによって、筑波大・宇都宮大・京都大・岡山大などの一部の学部で2006年度から後期日程を廃止し、今後もそれに追随する大学が増えてくると思われる。

#### (3) 二次試験の内容(センターは変化しても二次は変化無し?)

前期日程では学科試験が多く、本校生が多く受験する大学では、文系では、国語、英語に地歴・公民や数学が加わる3～4教科パターン、理系では、数学、理科、英語に国語が加わる3～4教科パターンが中心になっています。また、理系では、理科2科目または3科目を課す大学も多くあります。

後期日程では、入学定員が少ない分、本質的な学力を問える小論文や総合問題、人間性をはかれる面接などが重視されています。このことは、受験科目の学習だけでなく、幅広い知識や論理的な思考力、表現力などが必要なことを示しています。1年生のうちから、長文を読みこなし、自分の考えを論理的に表現豊かに文章化することを心がけておくことが大切です。具体的な試験科目については、3年生の7月末までに発表されますので、進路指導室にある国公立大学ガイドブック（大学入試センター）や蛍雪時代11月増刊号（旺文社）、入試科目配点・一覧などで調べて下さい。

## 4 私立大学の一般入試

### (1) 私立大学の入試制度の概要

私立大学の一般入試は、独自の科目設定によって行われています。伝統的に、文系の学部では、英語・国語と社会（現地歴・公民）から1科目の3教科3科目、理系の学部では英語・数学と理科から1科目の3教科3科目が中心です。また、経済系の学部では、社会のかわりに数学で受験できる大学も多く、理系の学部では、理科が2科目課される大学もあります。国公立大学に比べて、受験科目数が少ないので、負担が軽いように感じがちですが、その分一つの科目を深く学習する必要がありますので、必ずしも負担が軽いわけではありません。一般入試の時期は、1月下旬から2月に集中しており、比較的合格しやすい大学からしにくい大学へ並んでいる傾向が見られます。

### (2) 多様化する私立大学の入試制度

現在でも主流は、3教科3科目型ですが、近年はさまざまな入試制度が出てきました。例えば、次のようなものがあります。

- ① センター利用入試…大学入試センター試験の得点で選抜を行うもので、多くの大学では、個別試験を行いません。が一部の大学では学科試験や小論文・面接等が課されます。また、第1段階選抜（足切り）に用いて、二次試験を独自に課す大学もあります。私立大学のセンター試験利用は年々増加傾向にあり、慶應義塾大学（法）、早稲田大学（法）、平成18年度からは国際基督教大学（教養）でも利用されます。センター利用の定員枠はどの大学でも少なく、見かけ上高倍率になりますが、多くの合格者が国公立大学に流れるので、実際の合格者数は他大学への入学者数を見込んでいるので、実質倍率は見かけほどではありません。本校にとっても、国公立大学志望者が私立大学の受験対策をしなくても併願できるメリットがあります。また、受験料は一般方式に比べ安価に設定されている場合が多く、大学独自の試験が設定されていなければ受験に出かける手間もなく更にメリットは大きくなります。
- ② アラカルト入試…複数科目の中から受験科目を選択させ、教科によって配点に違いをもたせるなど、受験生が得意教科を活かして受験できる入試形態です。  
定員をいくつかに分け、複数の方法で選抜するやり方で、複線入試とも言われます。代表的なパターンは、入試科目を1~2科目に減らし、受験科目のいずれかの配点比率を高める方式ですが、学科試験以外に小論文や複数教科を融合した総合問題を出題する大学も増えています。また、実用英語検定や日商簿記などの取得級を点数化して試験の点数に加点できる大学もあります。受験科目数が少ないので、受験生は自分の受けやすい型を選んで科目を絞って勉強できます。しかし、受験科目数が少ないほど定員枠が少ない傾向があり、一方で、負担を軽く感じることから受験生が多く集まり、競争率が高くなりますから、一概に入りやすいとは言えませんし、学校独自の科目となるので他大学との併願が難しくなります。
- ③ 試験日自由選択制…同じ大学の同じ学部・学科の試験を2日以上設定し、受験生が都合の良い日を選んで受験できる制度です。現時点では、本校の生徒が多く受験する大学では、あまり設定されていません。
- ④ 地方試験…大学のある本部以外の地方で入試を行うもので、本校の生徒が関西の大学を受験するときに便利ですが、それ以外のメリットはあまりありません。

### (3) 多様化入試の注意点

これらの入試制度は、表向きは、多様化する受験生のニーズに合わせて、それぞれの持つ良い点を積極的に評価しようというものです。しかし、裏から見れば、受験生が急減しているなかで、いかに多くの受験生（受験料）を集めるかという大学側の事情もあるようです。入試制度は、多様化していますが、早い時期にある特定の選抜方法に絞り込んでしまうのは危険です。大学側は、受験生獲得のために様々な方法を考えており、制度もめまぐるしく変化していますから、2年後にその入試制度があるとは限りません。いろいろな可能性に対応できるよう、とりわけ1年生のうちには特定の科目に偏らない勉強をして、総合的な学力をつけるよう心がけましょう。

## 模擬テストについて

本校では、行事、修学旅行などの関係で変更の場合もありますが、通常、1・2年生は●・●・●月、3年生は●・●・●月に模擬テストがあります。これは皆さんのそれまでの学習の成果をはかるもので、定期テストのような狭い範囲設定はありません。模擬テストでは偏差値が出され、この数値が進路指導の参考の一つになります。偏差値は、競争のための数値だけではなく、自分の得手不得手を知るための数値であることに気をつけて下さい。また、この数値はあくまでも全国での値であって、本校のものではありません。数値が高いからといって一喜一憂してはいけません。問題は全国の順位ではなく、希望大学受験者内の順位です。

## 5 推薦入試

### (1) 指定校推薦の概要

本校では、ただ「推薦」と言うと、この指定校推薦のことを指します。本校は多くの大学から指定校推薦の枠をいただいています。これは、先輩たちの努力の賜物です。しかし、実際に指定校推薦で進学を決める生徒は、ほとんどいません。基本は一般入試での受験と考えておくべきでしょう。

大学が要求する推薦基準を一言で言うと、①その大学の学部・学科が第一希望で、そこでの勉学の意志が強いこと、②充実した高校生活を送ってきたこと、になります。

指定校推薦では、校内での推薦が決まると、面接試験などの結果、ほとんどが合格となります。指定校推薦は、その大学に進学することが義務づけられますので、合格決定後に取り消しはできません。大学が要求する評定平均を満たす必要があり、本校ではそのような生徒はおおむね一般受験でも合格できる力を持っています。したがって本校には指定校制度を利用する生徒はいません。

### (2) 公募制推薦（一般推薦）の概要

公募制推薦は、大学が推薦基準を設けて、その条件に合う受験生を一般公募する制度です。この結果、競争率が高くなり、選抜試験が行われて、合否が決められるのが普通です。国公立大学の一部で行われている公募制推薦では、学習成績の出願基準が高く、競争率も高く、なかなか合格できません。センター試験（大学入学共通テストへの変更が考えられる）の成績も必要な場合もあります。かえって一般受験のほうが易しい傾向があります。私立大学では、学習成績ばかりでなく、スポーツ推薦など特色を持ったものもあります。本校生が希望する大学では、あまり公募制推薦を行っておらず、この制度で進学する生徒はほとんどいません。第一希望の国公立が実施していればチャレンジしても良いでしょう。

## 6 A O入試

ここ数年、激増している入試方法です。本校では私立大学への出願は進めていない入試方式です。「A O」とはアドミッション・オフィスの略で、学力では測れない個性豊かな人材を求めることを目的としており、学力よりも目的意識や熱意・意欲を重視しています。原則的には学科試験は課されず、書類審査や面接（面談）などに時間をかけて審査選考されます。A O入試は私立大学が主に実施していたものですが、国公立も2021年までにA O推薦を入学定員の30%を目標にしています。第一志望の国公立がA O入試を実施しており、特に秀でた能力や、目的に叶った継続的な活動（たとえば芸術活動など）があればチャレンジしてもよいでしょう。（ただし倍率も高く、時間を費やすリスクを覚悟してください。）

A O入試は大学側が受験者に直接アプローチできるという点で、大学が真に入学させたい人材を能動的に選び出すことができます。また志願する大学のアドミッション・ポリシーに受験者が適合しなかった場合、その受験者は当該大学に合わない人材とされて不合格となりますが、学力入試により入学した後に自分を見失ったり、大学生活に失望したりして結局退学していくケースが多く見られる昨今、学生と大学の適合性が重視されるA O入試は受験者側にとっても有益な入試方法と一部では考えられています。

入試までの一般的なやり方は、エントリーシートで出願意志を表明し、入試事務局とやりとりを経てから正式に出願するといった流れです。選考方法は面談が最も多く、セミナー受講、レポート作成、研究発表といった個性豊かなものもあります。出願・選抜方法、合格発表時期は大学によって様々で、私立大学では夏休みのオープンキャンパスで事前面談を行ったり、講義に参加したりする場合があります。

しかし、本校生徒が希望する難関私立大学では準備から一次合格、二次合格など合格者を絞っていくケースが多く、そのため出願から合格までの期間が長期に渡ります。

例：慶応義塾大学理工 出願 10/11～10/14 試験（2次）12/4 発表 12/9

早稲田大学国際教養 出願 9/1～9/15 試験 10/30 発表 11/24

そのため夏休みだけでなく9月～12月までの時間をあてるケースもあります。AOにのめり込むと不合格だった場合の切り替え（時間や精神的な面）が難しくなります。国公立のAOにチャレンジする場合は第一希望であり、あくまでも一般受験の通過点という考え方をもって早期から準備する必要があります。

## 7 国公立大学と私立大学の違い

### (1) 受験タイプの違い

国公立大学では、センター試験に二次試験が課されるため試験の回数も多く、受験科目数も多くなっています。一方私立大学では、試験は基本的に1回で受験科目数も少なくなっています。はじめは、国公立を志望していても、いざ、受験勉強を始めると多くの科目に手が回らないという理由で、私立に変更する生徒が少なからずいます。しかし、受けやすいことと受かりやすいことは、別物です。私立大学の問題は、重箱の隅をつつくような出題も多く、3科目だけをやっている浪人を相手にたたかうわけですから、どの科目も細かな知識をつけておかなければなりません。文系では、特に英語の出来具合で明暗が分かれることが多いようです。

国公立大学では、センター試験の得点によって、出願校が大きく左右されます。毎年多くの3年生が、センター試験で失敗して、志望校の変更を余儀なくされています。センター試験は、高校までの学習内容がきちんとマスターされていれば解ける問題が多く出題されます。1年生のうちから、5教科とも知識と考え方の基本を固めておくことが、国公立大学への近道です。また、二次試験では、論述問題などでより本質的な学力を問われることが多く、普段から論理的な思考力を高める努力をしておくことが大切です。

### (2) スタッフや施設設備の違い

個々の大学の差は大きいですが、一般論として総合大学（複数の学部で文系から理系まで網羅している大学）で比べた場合、国公立大学では、学生数は比較的少なく、教授・助教授などのスタッフは充実しており、特に理系の場合は研究施設・設備も充実している傾向があります。一方、私立大学はその逆で、教員一人あたりの学生数が多いため、学生一人ひとりに対するきめ細やかな指導は、あまり期待できません。学問をする環境は、一般論として、国公立大学の方が整っていると言えましょう（表1）。

#### ここでは毎年最新のデータを入手しましょう

設 置 項 目 \ 大 学 名	国 立	公 立	私 立	
	東 京	横 浜 市 立	慶 應 義 塾	早 稲 田
学生数(人)	14,888	3,340	28,112	42,121
学 部 教 員 数(人)	2,808	239	1,201	1,040
教員一人あたりの学生数(人)	5.3	14.0	23.4	40.5
学生一人あたりの校地面積(m <sup>2</sup> )	21922	59.7	53.1	50.3
学生一人あたりの校舎面積(m <sup>2</sup> )	36.3	22.6	22.9	11.7
学生一人あたりの蔵書数(冊)	560.2	215.1	141.8	110.9

### (3) 学校の雰囲気や就職の違い

これも個々の大学の差は大きいですが、一般論として総合大学で比べた場合、私立大学は、学生数が多いため、サークルの種類や数も多く大学祭などのイベントも大規模で、キャンパスライフをエンジョイするには良いかもしれません。また、卒業生が多いため、そのネットワークが、民間企業就職の時に役立つこともあるようです。一方、国公立大学は、その逆の傾向があり、あまり華やかな部分はないようです。就職も実力で開拓する傾向が私立大学よりは強いようで、国家公務員や司法試験の合格者は、国立大学が上位を占めています（表2、3）。



**ここでは毎年最新のデータ入手しましょう**

表2 国家公務員I種合格者/1学年定員 (〇〇〇〇年)

1	東 京	498 /3053
2	京 都	221 /2829
3	早 稲 田	125 /5800
4	慶應義塾	85 / 3920
5	九 州	73 /2366
6	東 北	67 /2056
7	北 海 道	60 /2388
8	東京工業	50 /1028
9	大 阪	46 / 2517
10	神 戸	42 / 2421

表3 司法試験合格者/合格率 (〇〇〇〇年)

1	東 京	226	1	京 都	7.48
	早 稲 田		2	東 京	6.69
3	慶應義塾	170	3	一 橋	6.25
4	京 都	147	4	大 坂	5.55
5	中 央	121	5	慶應義塾	5.03
6	一 橋	57	6	名 古 屋	5.00
7	明 治	46	7	神 戸	4.64
8	大 坂	45	8	国際基督教	4.17
9	神 戸	33	9	東 北	3.93
10	同 志 社	30	10	早 稲 田	3.78

(4) 学費の違い

以前は、国公立大学の学費は安く、私立大学との差は歴然としていましたが、教育の機会均等の名のもとに、国立大学の学費の方が値上げされてしまい、私立大学との差は縮まってしまいました。公立大学も、多くが国立に追随した結果、国立とほぼ同額になっています。国公立と私立の入学金の差はほとんど無くなりましたが、それでも授業料の差は依然大きく、私立ではこれ以外に施設費などの諸経費が加わるため、年間費用の差はかなり大きくなっています。ただし、地方の国公立の場合は交通費や下宿代がかかりますので、自宅から通えるかどうかは学費に大きな影響があります。表4でもわかるように、1年間で文系では25~35万円、理系（医系を除く）では70~80万円の差がありますので、4年間では大きな額となります。また、大学院への進学率が高まっており、特に理工系の研究所や企業では、修士修了で一人前とみなす雰囲気もあります。理系では、大学院進学を前提とした志望校選びも考えるべきでしょう。このように考えると、自宅から通える国公立大学に進学した場合が、経済面では親孝行と言えます。

表4 大学の学費（初年度納入金）の例（2000年度（『蛍雪時代』0年11月増刊号より）

ここでは毎年最新のデータ入手しましょう

		入学金	授業料	施設・設備費	合計
国立大学	全学部	282000	520,800		802,800
首都大学東京	全学部	282,000	520,800		802,800
横浜市立	医以外	141,000	520,800	84,200	746,000
	医	141,000	496,800	295,970	957,770
文系	文・教育	272,410	729,550	182,580	1,184,540
	神・仏教	252,495	671,893	185,300	1,109,688
	社会福祉	228,543	742,008	188,859	1,159,410
	法・経・商	259,406	693,076	167,216	1,119,698
	平均	263,089	707,740	173,487	1,144,316
理系	理・工	262,133	940,328	197,050	1,399,511
	薬	469,735	1,390,015	385,228	2,244,978
	農・獣医	267,789	906,195	227,177	1,401,161
	平均	282,278	981,571	216,601	1,480,450
医師系	医	1,122,203	2,654,905	1,320,861	5,097,969
	歯	583,486	3,455,780	966,055	5,005,321
	平均	891,249	2,998,250	1,168,751	5,058,250
その他	家政	276,013	734,418	195,495	1,205,926
	芸術	325,699	1,116,952	351,866	1,794,517
	体育	280,364	766,454	274,753	1,321,571
	保健	330,650	942,292	208,337	1,481,279
	平均	302,581	891,595	251,069	1,445,245
全国平均		279,794	817,952	204,448	1,302,194

## 第2部 進路を考えよう

### 1 ●●高校の卒業生の進路先

#### (1) 卒業生の進路状況と大学の合格状況

表1は、今年進路状況です。例年、卒業生の約半分が現役で大学（ほとんどが4年生大学）に進学し、約半分が浪人しています。浪人の多くは、一浪で進学しています。

表2は、最近3年間の大学別の合格者のべ数とそれを集計したものです。国公立大学は、受験機会が少ないので、実数に近い数字です。私立大学は、一人で複数大学や同じ大学の複数学部に合格している例がありますので、のべ数は大きくなります。

#### (2) 卒業生の主な進学先

表2・3は、最近3年間の主な合格先と進学先（現役＋一浪）のべ数を見たものです。進学先はいわゆる有名私立大学が多く、国公立大学にもかなり進学しています。表2・3より、どのあたりが第1志望になっているかがわかります。

表1 進路状況 例

[最近3年間の卒業生の進路]		2016年5月1日現在					
年 度		2016年3月		2015年3月		2014年3月	
新	旧	新	前年以前卒	新	前年以前卒	新	前年以前卒
卒 業		275		315		272	
進 学 学	大 国公立	59	32	41	35	37	30
	大 私立	104	66	134	66	114	83
	短 国公立	0	1	1	0	0	0
	大 私立	2	0	1	0	1	0
	大 学校	0	0	0	0	0	0
	海外の大学	2	0	4	0	0	0
	専修学校その他	4	0	5	2	5	0
就 職	0	0	0	0	1	0	
合 計		171	99	186	103	158	113
未 定		104		129		114	

表2

表3

[最近3年間の主な合格者延べ数（現役＋浪人）]						[最近3年間の主な進学先]		
国公立大学			私立大学			国公立大学		
順位	大 学 名	合格者	順位	大 学 名	合格者	順位	大 学 名	入学者数
①	横浜国立	44	①	早 稲 田	223	①	横浜国立	37
②	横浜市立	28	②	明 治	208	②	東京工業	25
③	東京工業	25	③	中 央	138	③	横浜市立	23
④	東京都立	24	④	東京理科	130	④	東 京	20
⑤	東 京	20	⑤	青山学院	122	⑤	東京農工	18
⑥	東京農工	18	⑥	立 教	107	⑥	東京都立	13

大 学 名	2003年		2004年		2005年	
	全体	現役	全体	現役	全体	現役
< 国立大学 >						
旭川医科	1					
帯広畜産大			1			
北海道	4	1	2		5	4
北海道教育			1			
弘前					1	1
東北形	3		2	1	1	1
山形			1		2	
筑波	1	1	3	3	4	4
宇都宮					1	1
群馬					1	1
埼玉	1				2	
千葉	2		4	2	4	3
お茶の水女子	2	1			4	4
電気通信	1		2	1	1	
東京	7	6	6	5	3	2
東京医科歯科	2	1				
東京外国語			2	2	2	1
東京学芸	1		3	2	4	1
東京芸術					1	1
東京工業	2	2	13	5	10	7
東京商船	1					
東京農工	7	3	7	2	4	3
一橋	5	3	2	1	4	4
横浜国立	12	7	13	6	21	11
山梨			1			
福井医科	1					
信州	1	1	1			
静岡	1		1			
浜松医科			1	1	1	
三重					1	1
名古屋						
京都	1	1			1	
大阪教育						
神戸			1	1	1	
神戸商科	1					
香川医科	1					
高知			1			
九州					1	
国立大学	58	27	68	32	80	50
< 公立大学 >						
首都大学東京	9	7	9	7	5	
都立保健科学	4	2				
横浜国立	9	8	10	10	11	9
県立保健福祉					7	6
大阪市立					1	
公立大学	22	17	19	17	24	15

大 学 名	2003年		2004年		2005年	
	全体	現役	全体	現役	全体	現役
< 私立大学 >						
自治医科	1	1				
青山学院	40	26	49	37	38	27
学習院	5	4	10	8	8	4
北里	14	4	12	7	9	3
共立薬科			4	3		
慶應義塾	41	28	39	29	41	27
國學院	5	4	5	5	8	5
国際基督教	1	1	1	1	2	
駒澤	7	3	9	8	3	1
芝浦工業	14	10	18	8	13	6
上智	17	12	25	15	19	9
昭和	7	4	2		3	2
昭和薬科	4	2	4	1	1	1
成蹊	9	3	4	4	2	1
成城	3	1	7	4	5	2
専修	9	3	6	4	3	1
玉川	4	4	8	4	1	1
中央	51	32	55	34	29	18
津田塾	1	1	2	2	3	3
東海	5	2	6	4	12	5
東京慈恵会医科	1					
東京女子	3	3	2	2	7	5
東京電機			1	1	2	1
東京農業	3	1	5	1	9	4
東京薬科	1	1	3	1	5	3
東京理科	27	12	52	20	53	30
東洋	2		1		4	4
日本	20	7	19	10	32	14
日本女子	11	6	9	7	10	9
日本体育	1					
法政	25	11	27	13	22	10
星薬科			3	2	9	8
武蔵工業	6	2	12	2	11	4
明治	57	35	82	47	70	38
明治学院	18	9	32	23	40	31
立教	40	24	37	21	33	25
早稲田	66	39	90	39	74	45
神奈川	23	9	17	15	20	12
同志社	1		2	1		
立命館	4		4	4	1	
関西			1	1	1	1
関西学院	2	2				
私立大学	602	337	729	432	671	393
< 国公立短期大学 >						
県立外語短期			1	1		
川崎市立看護短期					1	
国公立短期大学	0	0	1	1	1	0
< 私立短期大学 >						
青山学院女子短期	1	1				
大妻女子短期			2	2	1	1
立教女子短大			1	1		
私立短期大学	3	3	8	8	5	4
< 大学校 >						
防衛大学校	1	1				
防大	1	1	0	0	0	0
< 専修学校 >						
専修各種学校	5	5	7	5	5	4
< 外国の大学 >						
外国の大学	0	0	4	0	2	2

表4 最近3年間の大学など合格者延べ数

## 2 進路に関して今やるべきことは？

### (1) 3年間の進路の流れ

Q1の図1(3ページ)に、進路の設計に関する3年間の大きな流れを示してあります。すでに進路目標を固めている人、まだ全くの人、個人的な差は大きいですが、一般的な流れとして、1年生でやるべきことを考えてみましょう。中学校までは、多くの人と同じレールの上を走ってきました。しかし、大学ではそれぞれの学問分野のレールに分かれて走るようになります。高校は、その分岐点にあたります。一度敷いてしまったレールを敷き直すことは、不可能ではありませんが、多くの労力を必要とします。分岐点で進路を誤らないよう、今のうちから自分の進路を考えておくことが大切です。

具体的には、2年生の秋に3年生の選択科目調査があります。本校では、数多くの中から自分の興味・関心や必要性に応じて選択科目を決めます。この結果、先輩たちの選択したパターンは、100通りを越えています。現実的には、ほとんどの生徒が大学の受験科目を考えて、選択科目を決定しています。言いかえれば、2年生の夏までに、志望する学部・学科、大学とそのために必要な受験科目などを絞り込んでおく必要があるのです。こうして、1年生の時に進路目標を考え、2年生前半で具体的な志望を決める大きな流れができるのです。そのための準備は2年生で志望が決まったときからではなく、1年生の最初から行いましょう。希望が決まらなくても準備をしっかりとっておけば、高い目標が選択できます。それが希望実現の第一歩です。

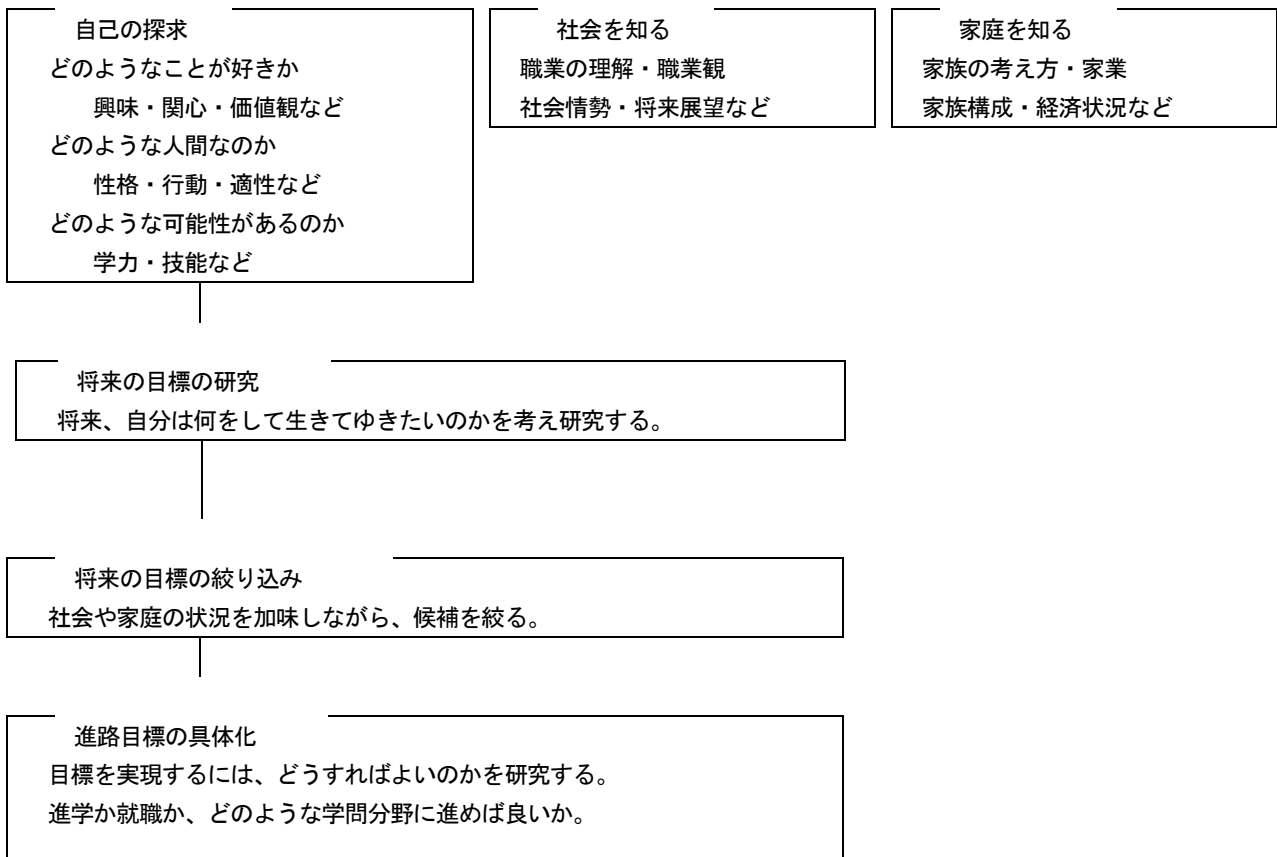
### (2) 1年生でやるべきこと

次のページの図1は、進路の設計について、1年生でやるべきことをまとめたものです。高校時代は、人間の発達段階からしても、自分自身についていろいろと考える時期です。進路の選択についても、自己の探求を中心に考えるべきでしょう。好きこそものの上手なれという言葉があるように、自分の興味・関心があることを学べて、将来それに関する職業に就ければ、こんなに幸せなことはありません。今現在、学問や職業に結びつくようなことで好きなものが無い人は、何だったら興味・関心が持てそうかを探してみましょう。一方で、自分は何に向いているのかを考えることも大切です。内向的な性格の人が、営業や販売をするのはつらいでしょうし、外向的な性格の人が、研究室に独りこもるのも退屈かもしれません。自分の適性と、将来志望する分野で求められる適性を照らし合わせて見る必要があります。

さらに、自分にはどのような可能性が秘められているのかを考えてみましょう。将来の志望を実現するためには、大変な努力を必要とする場合がほとんどです。自分の持つ可能性を120%引き出すためには、強い目標意識と日々の努力が欠かせません。「絶対に〇〇したい」という強い意志が、それを実現させるためのエネルギーを生み出すのです。そのエネルギーをもとに、受験体験記でも多くの先輩が述べているように、日々の授業・家での学習に積極的にとりくみましょう。自分の将来の目標を、高校1年生の段階ではっきり言える人は、少ないでしょう。しかし、目の前に人生の分岐点がある以上、今、真剣に考えるべきことなのです。

将来の目標を具体的に絞り込んでいく過程には、職業の理解や社会情勢を知っておくことが必要ですし、家庭の状況を理解しておくことも必要です。このような条件を加味しつつ、具体的な目標が絞り込めてきたら、今度はそれを実現するためには、どのようなことをすればよいのかを研究します。本校の生徒の場合、将来の目標を実現するためには、大学などに進学して、より高度な学問を身につける必要がある場合がほとんどです。研究内容が充実し就職実績の高い、最高学府をめざす理由は、ここにあります。資料1(p.17~19)は、大学の学部・学科と就職分野を整理したものです。将来の目標を考える上で参考にして下さい。

図1 進路の設計…学習以外1年生でやるべきこと



資料1 学部・学科の内容と就職分野

大学の学部・学科には、次の表に示すように非常に多くの種類があります。東京大学・早稲田大学などの総合大学は、このうちの5~10ほどの学部から構成され、文系から理系までいろいろの学部がそろっているのが普通です。それぞれの学部にはいくつかの学科が置かれています。それに対して、工業大学・教育大学・外国語大学などは単科大学と呼ばれ、通常単独の学部からなり、それがいくつかの学科に分かれています。各学科にはさらに、さまざまな専門コースや講座があり、多数の教員や大学院生などがそれぞれの専門の研究を行っています。

**人文科学系の学部・学科（文・外国語・人文・文芸学部等）**

主な学科・国文・日本文・英文・仏文・独文・中国文・英語・フランス語・ドイツ語・スペイン語・言語・教養・人文・文化・比較文化・国際文化・史・地理・哲・心理・人間関係・人間科学・キリスト教・仏教・地理・文明・図書館等  
 内 容・文学・言語・歴史・思想・宗教など、人間の営みの文化的な側面を対象として来た分野です。高校の教科と関連のあるものも多く、内容は比較的イメージしやすいでしょう。さらに、複雑な現代社会の中での人間の行動や心理を研究する人間関係学科・行動科学科などが、新しく加わっています。また、語学科では、世界各地で通用する語学力を養成する技術的な側面にも重点が置かれます  
 就 職 等・教員、マスコミ・出版関係、一般企業の事務系などに就職します。また、史学・考古学などでは、史跡発掘要員や博物館員として、心理学ではケースワーカーやカウンセラーとして、それぞれ専門能力を生かして、自治体や病院などに就職する人も増えています。

## 社会科学系の学部・学科（法・経済・政治経済・経営・商・社会科学・国際・総合政策学部等）

主な学科・法律・経済・商・経営・社会・国際関係法・地球環境法・経営法・政治・国際政治・管理行政・国際経済・産業経済・応用経済・経済情報・会計・貿易・国際商・経営情報・管理科学・応用社会・産業関係・産業

社会・社会福祉・産業福祉・福祉心理・社会教育・新聞・観光・総合政策等

内 容・人間が作り出している社会のしくみ、法律、経済活動などを研究します。経済学・政治学など理論的色彩の強いものから、経営学・会計学など実用性の高いものまでさまざまな学科があります。また、国際政治学・国際経済学など国際性に重点を置いたり、総合政策のように総合性に重点を置いた学科、経営情報学・管理科学などコンピュータを駆使する学科も多く新設されています。

就 職 等・各種製造業・金融・貿易・商社などあらゆる企業に就職し、民間への就職口は比較的恵まれています。サラリーマンになる人の割合の多い分野です。また、法学部を中心に、行政職の公務員、弁護士などの司法関係につく道もあります。

## 教育系の学部・学科（教育・体育・文・人間社会学部等） 教育学系統

主な学科・教育・生涯教育・児童教育・教育心理・産業教育・舞踊教育・体育・武道・社会体育等

内 容・教育の哲学や制度・歴史、人間の心理や成長過程などを研究します。体育系の学科では身体の運動の科学的な研究とともに、実技の鍛錬も重視されます。

就 職 等・研究者をめざして大学院に進学する人も多くいます。教員・公務員になる人の割合も多く、一般企業にも就職しています。スポーツの専門家やトレーナーになる人もいます。

## 教員養成系統

主な学科・小（中）学校教課程・高等学校教課程・養護学校教課程・養護教諭課程等

内 容・幼稚園から高校までの教員、また養護学校などの教員を養成します。めざす学校ごとに各課程に分かれ、さらに科目別の専門コースがあります。専門課程では文学部や理学部などと同様の研究も行われます。近年は、教員になる学生の減少から改組が進み、総合科学的な分野も増えています。

就 職 等・教育系の出身者に限りませんが、児童生徒数の減少ともななって教員採用数も減り、学校関係の就職は厳しくなっています。かわって一般企業やマスコミ関係をめざす人も多くなっています。

## 理工系の学部・学科

### 理学系統（理・理工・文理・学芸・情報科学・生命理工・海洋学部等）

主な学科・数・情報科・応用数・情報処理・物理・地球物理・宇宙物理・化学・生物・生化学・生体制御・応用生物・地・地質・地球科・地球環境・環境理・自然環境科・海洋・基礎理等

内 容・数学と理科（物理・化学・生物・地学）などの基礎的な研究が中心です。自然の真理を探究するため、ほとんどの分野で実験による検証を土台としていますが、数学や物理学の一部などの分野では理論的な研究が重視されます。地球物理・生化学などの理学系学際領域の研究や地球環境などの広域科学分野の研究も進められています。近年は、情報科学・高分子・バイオテクノロジーなど、工学や農学・医学などへの応用的な分野がますますさかんに研究されています。

就 職 等・大学院に進学する人の割合の多い学部です。教職・研究職につく人が多く、一般企業ではコンピュータ関係・化学工業などに多く進出しています。

### 工学系統（工・理工・電気通信・情報工学・情報科学・生産工学部等）

主な学科・機械工・精密機械工・機械システム工・電気工・電子工・電気電子工・通信工・情報工・情報システム工・物理工・土木工・建築・建設工・環境工・環境システム工・工業化・物質工・生物工・生命工・金属工・材料工・航空工・造船・経営工・制御工等

内 容・科学の発展の成果を工業生産に適用するための研究を行うとともに、技術者の養成を行うところです。機械・電気・化学・建築などの学科が基本となっていますが、科学技術の高度な発展ともななって専門分野も細分化し、数えきれないほどの種類の学科が生まれています。理科・数学の学力だけでなくねばり強く実験を行うための体力と熱意を必要とします。現在では、ほとんどの学科でコンピュータを駆使してデータ処理などを行っています。環境工学・経営工学・情報工学など、社会や経済と科学技術の関連を直接研究する分野も盛んになっています。

就 職 等・現代テクノロジーを支える科学・技術の専門家として、各種製造業の現場や研究所・官公庁など多方面から必要とされ、就職面では恵まれ

ています。その反面、分野が細分化されているため、専門外では力が発揮しにくいという厳しい面を持ち、社会や景気の動向に左右されることもあります。大学院への進学者も多くいます。

#### 医療・保健・衛生系の学部・学科（医・歯・薬・看護・保健衛生学部等）

主な学科・医・歯・薬・製薬化・衛生薬・看護・保健・衛生技術・理学療法・作業療法等

内 容・人間の体と心の健康を守るためのさまざまな学問をします。医師・薬剤師などの資格修得には、これらの学科を卒業する事が必要となります。生物学・化学・物理などの学力が要求されます。医学科・歯学科や薬剤師となるための修業年限は6年です。

就 職 等・これらの学科の卒業生の多くは卒業時に資格試験を受け、合格すると医師・薬剤師などの資格を与えられて、医療関係の仕事に従事します。「医師過剰時代」といわれ、病院経営も困難になっているといわれますが、優れた内容を修得すれば人々の健康に寄与し、社会に貢献する仕事に就くことができます。このほか、行政職、研究職、一般企業に勤める人もいます。

#### 農学系の学部・学科（農・園芸・獣医・水産・畜産・生物資源学部等）

主な学科・農・生物資源科・応用生物科・生物生産・環境資源科・生物環境・農業経済・森林科・獣医等

内 容・農業生産の向上を目的とする学問の性格上、生物学を中心に化学・地学その他の自然科学応用科学的な側面をもっています。工学系の学科との関わりが深く、また農産物の流通のしくみや農業生産の条件などを探るため経済学的方法も多く取り入れられています。食糧づくりのイメージから、資源開発や環境保全に関わる先端技術の分野へと大きく変貌しつつあります。獣医学科は6年制です。

就 職 等・食品関係を中心とした各種製造業、官公庁の研究室、農業団体などに就職します。その他、大学院への進学者、教職に就く人、獣医など様々な進路がありますが、農業自体への従事者は少なくなっています。

#### 家政学系の学部・学科（家政・生活科学・生活環境・栄養学部等）

主な学科・家政・生活科・人間生活・被服・住居・児童・生活環境・栄養・食物等

内 容・古典的には食物・被服などを中心に家庭生活や社会生活を営む上で有用な専門的技術を学びます。しかし、最近は生活科学としての視点が強まり、生活に関わる総合科学として発展しています。

就 職 等・服飾・建築・インテリアなどのデザイナーから病院や学校の管理栄養士まで、専門性を生かした職に就くことが多い分野です。いずれにしてもどれだけ努力して専門能力をみかきかけたかが成功の鍵となります。

#### 芸術系の学部・学科（芸術・美術・造形・音楽等）

主な学科・芸術・絵画・美術・デザイン・産業デザイン・工芸・音楽・声楽・器楽・作曲・指揮・演劇・写真・放送・映像等

内 容・音楽・美術・演劇など、さまざまな芸術の理論と実技を学び、創造力・表現力を養います。豊かな感性も要求されます。

就 職 等・専門家として一本立ちすることのとりわけ難しい分野で、よほどの才能等に恵まれた人以外は芸術家として十分な収入を得ることは困難のようです。小・中・高の教員や研究職、デザイナー、マスコミ関係などさまざまな分野に進みます。

#### 教養・総合系の学部・学科（教養・国際・国際関係・総合科学・人間科学・環境情報学部等）

主な学科・教養・基礎科・国際・国際関係・総合科・人間基礎科・人間関係・環境情報等

内 容・教養学科などでは、人文科学・社会科学のいろいろな分野を幅広く学び、語学的教養が重視されるのも特徴です。専門分野の細分化に対する反動として、物事を総合的にとらえようとする動きが活発になっています。例えば、人を動物としてのヒトと社会における人間として総合的に研究しようとする姿勢が見られます。総合系の学部ではこのような視点で研究が行われています。

就 職 等・幅広い教養を生かして、外交官や国際的なビジネスマン、ジャーナリストやマスコミ関係をめざす人も多く、その他進路は多岐にわたっています。さまざまな学校の教職につく人も多くいます。





### 3 進路の情報を得るには

#### (1) 進路指導室を利用しよう

進路指導室に行くと、3年生が真剣な眼差しで調べものをしている姿に出会うでしょう。この部屋は、3年生だけのものではありません。1・2年生向けの資料や配布物も置いてあります。1年生のうちから積極的に利用してほしいものです。利用方法は、右ページを参照して下さい。

#### (2) 進路を考える上で参考になる資料

蛍雪時代 4月増刊—全国大学学部・学科案内号 (旺文社) <進路指導室・図書室>

…どの学部・学科では、どのような学問ができるか、その学科はどの大学にあるか。

逆引き進学辞典 (廣告社) <進路指導室>

…職業のキーワードから、学部や学科、それを置く大学を調べられる。4月に配布。

蛍雪時代 8月増刊—全国大学内容案内号 (旺文社) <進路指導室・図書室>

…大学ごとに学部・学科の内容を紹介。

大学入試シリーズ[通称赤本] (教学社) <進路指導室>

…入試の過去問題集だが、巻頭にその大学についての案内がある。

蛍雪時代 11月増刊—全国大学受験年鑑 (旺文社) <進路指導室・図書室>

…入試方法 (受験科目や試験日など)、学費などがわかる。

受験科目特集 (駿台、河合塾、代ゼミなど) <進路指導室>

…入試方法 (受験科目や配点など) がわかる。9-10月ごろに配布。

#### (3) カラーパンフに惑わされるな

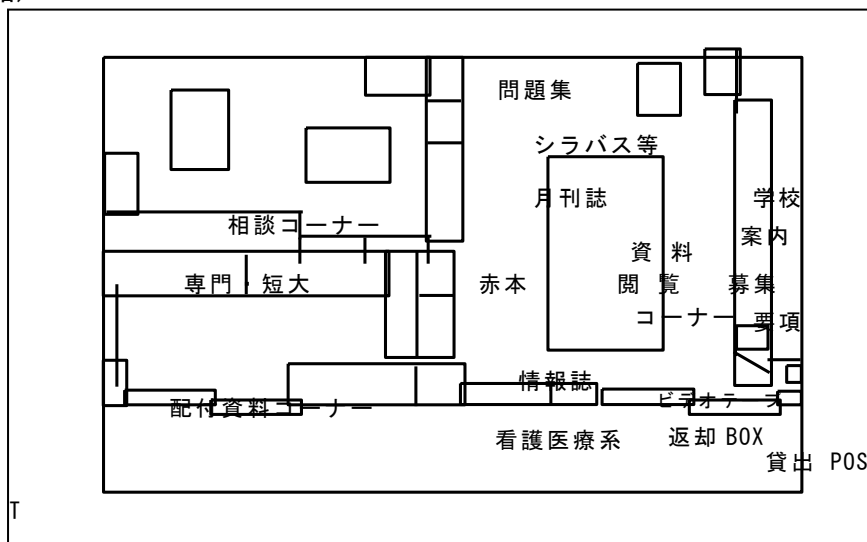
各大学では、受験年齢層の人口減少から、大学の生き残りをかけて、学生獲得に躍起になっています。特に私立大学では、予算を自由に使えることから、PRに多額の出費をしています。フルカラーの分厚いパンフレットを開くと、いかにも充実した設備やスタッフの紹介と、楽しそうなキャンパスライフの写真が満載されています。しかし、その大学はPRのために、みなさんから集めた学費を費やしていることに気がつくべきです。そのようにして中身を見抜く力を磨くことが必要です。また、各大学の在校生向けのシラバス (講義案内) では、実際の講座の開設数や講義の内容がわかります。

## 進路指導室の利用について

進路指導室には、進路に関わりのある各種資料がそろえてあります。資料は本校の生徒・教職員の共有の情報源であり、自由に閲覧できるようになっています。各自の良識ある行動がこの部屋を維持・運営していくこととなります。

◇場 所： 2棟1階 東端の教室

◇室内配置（概略）



- ・資料閲覧コーナーには各種の進路資料があり、自由に閲覧できます。所定の手続きにより、資料を借りることもできます。
- ・相談コーナーは、おもに先生方と進路相談を行うためのコーナーです。
- ・配布資料コーナーには、生徒配布用の雑誌・模擬試験の案内など、自由に持ち帰ることのできる資料が並べてあります。

◇利用時間：月曜～金曜 9：40～16：30

◇利用にあたって

- ・資料を汚すおそれがありますので、飲食物を持ち込まないでください。また、室内では飲食しないでください。
- ・雑談等は謹むなど、調べ事をしている方への配慮も忘れないでください。
- ・利用した資料はもとの場所に戻すなど、整理整頓に心掛けてください。
- ・資料は大切に扱い、書き込み・無断持ち出しなどがないようにしてください。
- ・なお、卒業生寄贈の赤本等には、勉強の跡が残されているものが含まれています。

◇資料の貸出方法（概略）について

- ・貸出時：貸出・返却カードに記入する。→ 貸出カードのみをポストに入れる。
- ・返却時：返却カードを資料にはさむ。→ 返却ボックスに入れる。

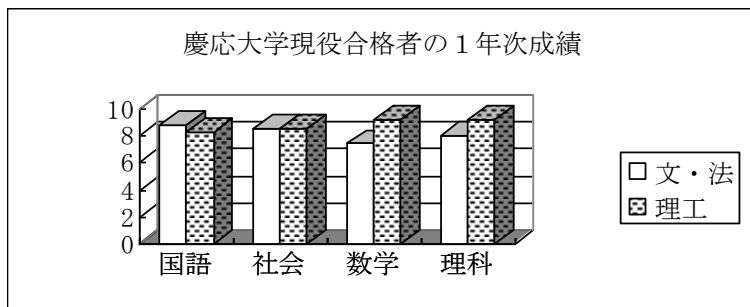
進路指導室に関する問い合わせ・要望等には、下記の教員が対応します。

進路指導部（〇〇、〇〇、〇〇）

## 1年生での学習

### (1) 偏らない学習を

下のグラフは、最近の慶應義塾大学文学部・法学部と理工学部現役合格者(除く推薦入学)の、1年生時の国語・社会・数学・理科の10段階評価を平均したものです。文学部と法学部では、数学・理科は入試科目に必須ではありません。同様に理工学部では、国語・社会が必須ではありません。グラフを見ると、数学にやや差がありますが、それでも



文・法合格者も7以上をとっており、どちらの合格者もまんべんなく良い成績をとっていることがわかります。

現役合格者は、1年生の時に特定の教科に偏らない努力をしていたことがわかります。このことは、高校生の学力は、理系文系などに単純に分類できない総合的なものであることを現してい

ます。国語や社会の問題を考えるときにも数学で鍛えた論理的思考力が必要ですし、数学や理科の勉強をするのにも十分な読解能力を必要とするのです。

### (2) 基礎学力の充実を

大学側から見て、今君たちに身につけてほしい学力とは、大学教育を受けるにふさわしい十分な基礎学力です。3年生になってからあわてて受験テクニックを身につけようとしても、1・2年生で習ったこと、科目によっては中学校の時から習ってきたことがおろそかになっていたら、本当の力は身につけません。

「中学校の時には、あまり勉強もせずに良い成績がとれたのに、高校では、なかなか良い成績がとれない。」という声をよく耳にします。これには、次のような問題点があると思われます。

①中学校では、テスト前などに教科書などを暗記する事で良い点が取れたかもしれませんが、高校ではそうはいきません。高校の多くの勉強の目的は、暗記ではなく考え方のトレーニングです。論理的な思考力を高めるために、本校ではかなりレベルの高い授業が行われています。常に「なぜ、そうなるのか？」という姿勢が大切です。

②中学校では、テストの直前にテスト勉強をする事で良い点が取れたかもしれませんが、高校では間に合いません。膨大な学習内容をこなすためには、日常の家庭学習は欠かせません。特に、数学の復習や英語の予習・復習は、毎日コツコツと努力を重ねる必要があります。

③部活が忙しくて勉強時間が取れないとの声もあります。しかし、多くの先輩たちは、きちんと部活をしつつ、目標の大学に合格しています。彼らに共通して言えることは、無駄な時間を過ごしていないということです。限られた時間を有効に使い、集中力を発揮できるかがポイントになります。

これ以外にも、今君たちが勉強しているすべてのことは、体育の授業で体力や俊敏性を身につけたり、芸術の時間に表現力を磨いたりする事も含めて、すべて君たちが将来充実した人生を送るために不可欠なものであることを忘れないようにしたいものです。3年間の高校生活を通して、自分自身を発見し、将来に続く礎(いしずえ)を造ることが期待されています。授業などで知識を吸収し、多くの本を読んで感動し、部活や行事で心が揺り動かされる体験に出合って下さい。また、社会に関心を持ち、先生や友人と関わる中から様々なものの見方や考え方を見いだしてください。